

筑波大学循環バス沿線の横断歩道の分布に関する調査

舒 夢雨 (地球科学専攻)

1. 研究背景

筑波大学キャンパスの中で大学循環バスは通勤と通学の主な交通ツールの一つである。循環バスの路線はキャンパスの各施設と各学生宿舎の間をつなげている。横断歩道は人々の日常の生活にとって、欠くことができないものである。本研究は、対象地域内の横断歩道の分布を調査する。

2. 対象地域

つくば市の筑波大学循環バス沿線の道路を考察地域として調査する。大学循環バス沿線の道路には松見通り、けやき通り、ゆりのき通りなどの一部が含まれる。

3. 研究方法

G P S 端末を用いて調査範囲内の道路で各横断歩道の位置を記録し、信号機付きの横断歩道と付かない横断歩道とその位置を取得する。収集したデータを ArcGIS に入力し、地図化する。また、各横断歩道間の距離と最近バス停までの距離を分析する。

4. 研究結果

筑波大学循環バス沿線の約 8 4 0 0 メートルの道路で収集したポイントは合計 9 7 箇所である。そのうちバス停は 2 4、横断歩道は 7 3 箇所が設置されている。平均的には約 1 1 5 メートルごとに横断歩道が設置されている。筑波大学の農林技術、一の矢宿舎、植物園を含む北地区では、約 1 4 2 0 メートルの道路で僅かに 9 箇所である。特に一の矢宿舎前のあけほろすき通りでは、約 6 4 0 メートルにわたって横断歩道がない。

本部棟、第一、第二、第三、実験センターを含む中地区約 1 5 3 0 メートルの道路で横断歩道は 2 3 箇所、南地区約 1 7 0 0 メートルの道路で 1 3 箇所、西地区の道路で 1 5 箇所、春日地区からつくばセンターまで道路で 1 4 箇所が存在する。

研究地域内の各バス停と最近の横断歩道間の平均距離は 5 7 . 7 5 メートルである。その中で一の矢学生宿前は最近の横断歩道までの距離は 1 7 0 メートルである。

これは、日常で北地区を利用する人数が少ないということと関連がある。

吾妻小学校	105	TARA センター前	64
筑波大学春日キャンパス	33	大学植物見本園	12
筑波メディカルセンター前	105	一の矢学生宿前	170
メディカルセンター病院	56	農林技術センター	35
追越宿舎東	42	陸域環境研究室センター前	15
天久保二丁目	85	第三エリア前	70
天久保池	40	第一エリア前	26
合宿所	15	大学会館前	60
天久保三丁目	46	筑波大学西	47
松見池	83	平砂学生宿舎前	17
大学公園	45	追越学生宿舎前	28
筑波大学中央	29	筑波大学病院入口	20

各バス停と最近の横断歩道の距離 (メートル)

